

20
KBIC
KOBE Biomedical Innovation Cluster
さらなる飛躍へ!

神戸医療産業都市
20周年
記念イベント

神戸医療産業都市
京コンピュータ

一般公開 講演会

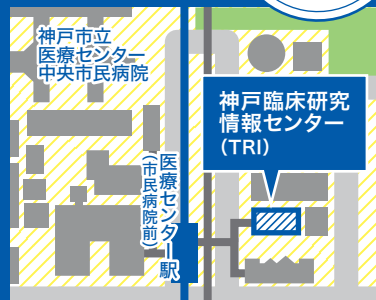
健康長寿社会の実現を目指す! ~基礎研究から実用化まで、神戸の挑戦~

参加
無料

2018 11/23 金・祝 13:00~16:00

会場 神戸臨床研究情報センター(TRI) 2階 第1研修室

定員 各回150名程度 事前申し込み不要 お気軽にお立ち寄りください!



1 生物の老化と寿命の仕組みを探る

13:00 理化学研究所

13:30 生命機能科学研究センター センター長

西田 栄介 氏



2 脳を治す医療を神戸から世界に!

13:35 神戸医療産業都市推進機構

14:05 先端医療研究センター 脳循環代謝研究部 部長

田口 明彦 氏



3 健康長寿社会を目指して -研究開発型製薬企業の挑戦-

14:10 日本イーライリリー株式会社

14:40 研究開発本部 糖尿病領域 本部長

今岡 丈士 氏



4 認知症予防は一日にしてならず! -認知機能の見える化で、豊かな生活-

14:45 株式会社トータルブレインケア

15:15 代表取締役社長

河越 眞介 氏



5 認知症にならない、なっても困らない社会を目指して

15:20 神戸大学大学院

15:50 保健学研究科 教授

古和 久朋 氏



お問
い合
わせ

公益財団法人
神戸医療産業都市推進機構 TEL: 078-306-2231

主催

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構、国立研究開発法人 理化学研究所、神戸市

※1講演につき30分。各公演終了後、5分間の入れ替え時間を設けています。

講演内容の詳細は裏面をご覧ください。

講演詳細

健康長寿社会の実現を目指す！

基礎研究から実用化まで
～ 神戸の挑戦 ～

「未病」「老化」「認知症」など、健康長寿社会を実現する上で重要な課題について、基礎研究から臨床研究、さらには政策、実用化に至るまで、各段階における神戸医療産業都市での取り組みを紹介します！

1 13:00～13:30

生物の老化と 寿命の仕組みを探る



理化学研究所
生命機能科学研究センター
センター長

西田 栄介 氏

逆的に聞こえるかもしれませんが、老化は、生物にとって、生命活動の一環です。と言うのは、最近の研究で、老化は経年劣化という受動的な側面ばかりではなく、能動的な側面もあることがわかってきたからです。また、生物の老化と寿命は、遺伝的プログラムで規定されていますが、環境要因によっても大きく変化します。

本講演では、食事制限による寿命延長や長寿遺伝子などの話題を通じて、寿命と老化の謎に迫ります。

2 13:35～14:05

脳を治す医療を 神戸から世界に！



神戸医療産業都市推進機構
先端医療研究センター
脳循環代謝研究部 部長

田口 明彦 氏

私たちの研究室では、障害された脳での血管再生が神経組織や神経機能の再生をもたらすことを、世界に先駆けて発見報告してきました。現在、それらの成果を基に、脳梗塞患者さんや認知症患者さんにおける「脳血管再生による神経機能再生」をテーマに、脳を治す医療を日本から世界へ普及させていくための研究開発を行っています。

今回の講演では、脳を治すための研究開発が、どのように進んでいるのかについて、紹介させていただきます。

3 14:10～14:40

健康長寿社会を目指して —研究開発型製薬企業の挑戦—



日本イーライリリー株式会社
研究開発本部
糖尿病領域 本部長

今岡 文士 氏

日本イーライリリーは、神戸に本社を置く、研究開発(イノベーション)志向のグローバル製薬企業です。どのように新薬を開発し、品質・安全性を保持しながら、患者さんへ薬を届けているのか、健康長寿社会の実現をめざして、糖尿病を切り口に、災害時での薬剤供給対応などを含め、製薬企業の取り組みをご紹介します。

4 14:45～15:15

認知症予防は 一日にしてならず！ —認知機能の見える化で、豊かな生活—



株式会社トータルブレインケア
代表取締役社長

河越 真介 氏

私たちの日常生活は、様々な認知機能によって支えられています。しかし認知機能の衰えは自覚症状も曖昧で、受診した時には重症化し、治療が困難なケースもあります。「認知機能の見える化」ができると、早期発見だけでなく、予防プログラムの効果測定や介護現場の負担軽減にも役立ちます。医療産業都市進出企業として、認知症課題の解決に貢献する「認知機能の見える化」ツール脳活パラソーサーCogevo®についてご説明します。

5 15:20～15:50

認知症にならない、 なっても困らない 社会を目指して



神戸大学大学院
保健学研究科 教授

古和 久朋 氏

日常生活を営む上で、体の機能とともに脳の機能が重要です。脳の機能を担う神経細胞がひとたび減少しはじめると日常生活に支障を来すようになり、これが認知症と呼ばれる状態です。最先端の医療をもってしても減少した神経細胞を元に戻すことができません。従って、認知症の予防、そして認知症になっても生活を支援してくれる仕組みや政策が重要です。神戸市では、日本に先駆けて認知症に関する様々な政策の立案、実行やそのための研究を進めており、その一端を紹介します。